

「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会 兼 講座

マナーキッズ® 講師養成講習会シリーズ

怪我をしやすい子供、正しく座れない子供、落ち着きがない子供が増えています。

その理由は、姿勢が悪く、「体幹」が育っていないからです。

体幹が身についた子供は、美しい姿勢になり、運動能力が高まり、学力も向上します。

3歳からでは遅いので、0歳から乳幼児・児童の発達に応じた「立腰・体幹遊び。」で、子供の心も体も健康に!!

人間形成の礎石となる「三つ子の魂」を育むことが必須!!

1. 開催日時

令和4年11月1日(火)10時~11月10日(木)18時

この期間中にオンデマンド配信(動画・音声・文書で下記内容を配信します。)しますので、好きな時間に受講できます。

2. 開催場所

オンデマンド配信(アクセス方法・URLは別途ご案内します。)

3. 講師・内容

(合計で3時間弱)

- ・「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会兼講座の趣旨・狙い
公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト 田中日出男 理事長
- ・0歳からの立腰教室 江崎尚子 福岡県福岡市清水保育園 園長
- ・0歳からの体幹遊び
子供の体幹を鍛える大切さ 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト 川淵三郎 最高顧問
乳幼児 村井つかさ 甲斐市あおぞら保育園 園長
3歳~6年生 根本正雄 根本わくわく体操教室 代表
- ・マナーキッズ®体幹遊び教室司会進行要領
公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト 田中日出男 理事長
- ・運動遊びが子供の脳とからだを鍛える
居関達彦 公益財団法人外遊び体育遊具協会 安田式体育遊び研究所 所長
- ・日本の伝統的な美しい姿勢・挨拶 鈴木万亀子 小笠原流礼法 的伝総師範
- ・家庭内の躰 鈴木万亀子 小笠原流礼法 的伝総師範
- ・「マナーキッズ®」調べ 明石要一 千葉敬愛短期大学 学長
- ・食と健康 健康の鍵は3~5歳位までに決まる腸内細菌
道見重信 一般財団法人食と健康財団 前理事長
- ・「0歳からの立腰・体幹遊び」の効果 子供の体幹を鍛える研究-正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証
東京都教職員研修センター、早稲田大学スポーツ科学学術院元「子供の姿勢研究班」
岡野義之 早稲田大学スポーツ科学学術院教授、博士(スポーツ科学)
- ・「幼児期の言語機能に及ぼす模倣運動の影響」大森 肇 筑波大学 名誉教授
- ・「規律正しい児童は学力も大きく向上する」品川区立浜川小学校他

4. 参加費

「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会受講者 2,000円
実技教本及び修了証の郵送をご希望の方は、郵送料他として500円、合計2,500円「0歳からの立腰・体幹遊び」講座 500円
実技教本の郵送をご希望の方は、郵送料他として500円、合計1,000円。

5. 認定証

「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会受講者の中から、
認定証資格審査基準(実技教本記載の知識要件)に基づく試験を行い、
80点以上を合格とし、《マナーキッズ講師Ⅱ認定証》を交付します。

6. 募集人員

「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会 100名以内(先着順)
「0歳からの立腰・体幹遊び」講座 100名以内(先着順)

7. 対象

小学校・幼稚園教諭、認定こども園保育教諭、保育士、校長、園長、元教諭、元保育士、元校長、元園長、
各スポーツ、音楽・文化活動指導者、シニア、学生、その他マナーキッズ®の普及活動に関心のある方々。
なお、「0歳からの立腰・体幹遊び」講座は、子育て中、これから子育てをする保護者が対象です。

8. 申込先

右記の「参加申込書フォーム」から
お申込みください。

参加申込フォーム

https://fundexapp.jp/mannerkids_event/entry.php?event=900021

主催:

公益社団法人
マナーキッズ® プロジェクト

後援: スポーツ庁 甲府市 甲府市教育委員会

人間形成の礎石となる 「三つ子の魂」を育むことが必須

リつよう 立腰 (腰骨を立てる)



森信三氏(教育哲学者)提唱
協力 一般社団法人実践人の家 NPO法人の土台づくり

- ① まず、お尻をウンと後ろに引く
- ② 次にお尻のやや上方の腰骨をできるだけ前方に突き出す

0歳からの体幹遊び®



富山房インターナショナルより発刊

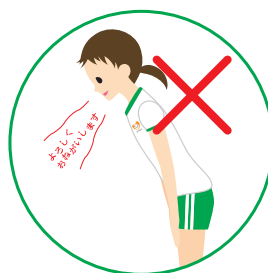
いじめ、不登校、暴力行為、骨折、発達障害、アレルギー等
日本の子供の憂慮すべき現代的(社会的)課題を
このまま放置していいのでしょうか？

リつよう
「0歳からの立腰・体幹遊び」®により、姿勢が良くなり、
「学力が向上する」「スポーツが上達する」基盤作りになります

「マナーキッズ®」調べ



姿勢・挨拶



「よろしくおねがいします」
「ありがとうございます」と
言ってからからだをたおす

食と健康



監修 日本総合医学会